

一 般 質 問 通 告 事 項

(令和4年第4回白岡市議会定例会)

第1通告者

6番 関 口 昌 男 議員

1 南小学校周辺の整備問題について

- (1) 南小学校周辺の市街化調整区域内の開発行為の実態を伺う。
- (2) 市道6170号線の蓋かけ事業及び側溝の整備はどのような進捗状況か。
- (3) 南小学校の北側を通る、市道6184号線及び6185号線の整備状況は。
- (4) 大山商店から南小学校への道路の環境整備を。
- (5) 今後の発展を考えて、先行的に整備すべき課題はないか。
- (6) この地域の速度規制などの環境整備について。

2 生活福祉資金貸付制度の現状と今後について

- (1) 生活福祉資金貸付制度の実態はどのようなものか。
- (2) 社会福祉協議会の相談体制の充実を。
- (3) 今後の返済に係る内容はどのようになっているか。
- (4) これからの相談体制はどのようになっているか。

第2通告者

15番 遠 藤 誠 議員

1 自家用車によるドアT o ドアのインパクト

- (1) 「あなたは希望の路線バスが整えば自家用車を捨てて、乗りますか。」という問いへの回答をどう予測するか。課題は整理されていないのでは。
- (2) 市が対応すべきは福祉面だけという結論もあるのではないか。

2 のりあい交通に関する補助金の減額について

- (1) 新バス路線の運行により国の補助金に減額はないという情報は本当なのか。その計算方法は。
- (2) のりあい交通に関わらず、公共交通の赤字に特別交付税の補填はあるのか。

3 資源としての集会所

- (1) 子育て世代に、積極的に集会所を提供してはどうか。
- (2) 高齢者のサロンとして集会所を提供してはどうか。また、行事型からコンスタントに積み上げる日常型に評価を変えていくべきではないか。

4 エリアマネジメントについて

- (1) 自治や文化、ソフトを所管する担当課との連携が重要なのではないか。
- (2) 今回対象とした新白岡エリアを先進見本とするのか。

第3 通告者

1 番 石 渡 征 浩 議員

1 県道さいたま幸手線ベルクを核テナントとしたミニSC化について

- (1) 開店後の営業見通しについて、ベルクと確認しているか。どのような見通しを立てているか。
- (2) 周辺開発の実施により、ミニSC（ショッピングセンター）化する必要があるのではないか。
 - ア 事業者の用地確保を支援してはどうか。
 - イ 事業者に出店を働きかけてはどうか。

2 避難所の体制について

- (1) 避難所ごとの収容キャパシティーと避難予測者数は。
- (2) 行政区ごとの市民の避難意向を把握する必要があるのでは。
- (3) 避難先のコントロールや新たな避難所指定などの対応策について。

3 側溝への蓋がけの促進について

- (1) 未対応の案件数と総延長、及び費用について。
- (2) 道路予算との配分率の変更について。

第4 通告者

1 2 番 中 川 幸 廣 議員

1 インクルーシブ的発想でのまちづくりを。

先般の全員協議会で執行部より、今後のまちづくりの説明があったが、まちづくりの基本となる様な「考え」はあまり聞こえなかった。

選挙時に「住んで良かった！と言われるまちづくり」などと何回も聞いている。しかし、それは当然で、市民はもっと具体的なまちづくりを望んでいる。

そこで、まちづくりの一つの柱としてインクルーシブ的発想でまちづくりを行って欲しいと考えるが、執行部のお考えを伺う。

2 街バルの成果は。

白岡市・蓮田市の市制10周年・50周年を記念し、「街バル2022」のチケットの販売が行われた。

しかし、市民からは販売当日直ぐに申し込んだが、既に「売切れ！」と言われたと苦情が出ている。折角の記念行事も市民からは不評であった今回の街バルの内容と成果について伺う。

第5 通告者（11月21日取下げ） 13番 細井 公 議員

1 危険箇所への安全対策について

西四丁目から九丁目まで通る市道は交通量が多く西小学校の通学に危険を生じている等の箇所がある。安全対策を講じる必要があるが、考えを伺う。

2 下水道マンホールの蓋の活用について

各地でゲームやアニメのキャラクター図柄を採用したカラーマンホール蓋が増えている。景観だけでなく、人を誘致させる効果など多才であると考えますが、当市でも採用されてはいかがか伺う。

第6 通告者 10番 渡辺 聡一郎 議員

1 子育て世代に選ばれる街へ

(1) 子育て世代に選ばれる街を目指し、出産祝などの施策の充実を図れないか。

(2) 子育て世代のニーズに即した公園づくりが必要と考えるが、いかがか。

2 PTAについて

(1) 学校・PTAの個人情報の取り扱いについて伺う。

(2) P T A活動の課題と今後について伺う。

3 防災・防犯力の向上について

- (1) 消防団へのアンケート結果を踏まえ、操法大会等への参加について市はどのように考えているか。
- (2) 消防団と消防職員の交流、多様な災害に対する実践的な訓練の強化が必要と考えるが、いかがか。
- (3) 防災・防犯のための情報共有と情報発信の強化が必要ではないか。

第7 通告者

9 番 菱 沼 あゆ美 議員

1 こもれびの森の魅力向上について

- (1) 最近の施設利用状況は。コロナ禍でもあることから、図書館での電子書籍の貸出しを開始してはどうか。
- (2) 赤ちゃんタイムの必要性はないか。子ども連れの大人への配慮について伺う。
- (3) ギャラリーで、個人の収集品の展示を企画してはどうか。新たな来館者が生まれるのでは。
- (4) 飲食の場の要望が多くある。キッチンカーなどを定期的に来てもらうことはできないか。

2 まちの安全対策について

- (1) 用排水路では、転落事故などの懸念がある。過去においての転落事故などは起きているか。
- (2) 用排水路沿いの通学路も含めた総合的な点検を行い、必要な対策を行ってはどうか。
- (3) 通学路のうちで、道路と高低差の大きい箇所には安全対策はできているか。特に篠津小学校前の田んぼに沿った市道243号線は、以前から対策要望があるが、柵の設置はできないか。
- (4) 白岡駅の自由通路が悪天候時に水がたまり、滑りやすく転倒する人が後をたたない。早急な滑り止めの対策と注意喚起の表示が必要と考えるが、いかがか。

3 子宮頸がん予防ワクチンとがん対策について

- (1) 子宮頸がん予防ワクチンが積極的勧奨の再開となったときの定期接種対象者（小学6年生～高校1年生）とキャッチアップ対象者（17～25歳相当）への周知・案内はどのように行ったのか。
- (2) 直近の定期接種対象者とキャッチアップ対象者の接種率は。ご意見や相談などの状況はいかがか。
- (3) 9価HPVワクチンの効果はどうか。市民への説明はどのようにされるか。
- (4) 9価HPVワクチンが定期接種に加えられることになった場合の周知・案内はどのようにするのか。2価・4価・9価を扱う医療機関の情報が必要ではないか。また、どうしたら接種率を上げられると考えているか。
- (5) 男性への接種補助を行う自治体が出てきているが、市としてどう捉えているか。
- (6) 特に女性特有のがん検診の受診率向上の一策として、小・中学校でのがん教育に合わせて、保護者の参加を促し、学校に検診車を派遣し実施してはいかがか。

第8通告者

16番 黒 須 大 一 郎 議 員

- 1 Withコロナに向けた新たな段階としての学校教育等を問う。
 - (1) 小中学校は、本年9月8日に政府が決定した「Withコロナに向けた政策の考え方」に沿った対応をしているのか。
 - (2) 児童生徒の学校生活も国の社会経済活動と同様な感染対策をしていくべきだが、現状と今後は。
- 2 公共施設統合再編の実施計画策定は進んでいるのか。
 - (1) 公共施設の統合再編、それに向けた実施計画策定は進んでいるのか。以下の現状を伺う。
 - ア 公共施設統合再編実施計画策定の進め方（骨太の方針は）
 - イ 同策定のための担当部署及び担当人員
 - ウ 同策定の予算
 - エ いつまでに公共施設統合再編実施計画を策定するのか。

(公共施設統合再編実施計画の策定期間)

3 消防団の今と将来は。

- (1) 第1分団の建替え移転先が決まったが、かねてより建替え移転の必要がある第7分団は、どうなるのか。
- (2) 市内の消防団は7分団あるが、この先もこの分団数を維持継続していくのか。今後の防災等を鑑み新たな体制・枠組みを検討すべきでは。

4 白岡消防署の現状と今後を問う。

- (1) 先の定例会で埼玉東部消防組合の規約変更に対しての附帯決議を議会の総意として決議したが、本組合の正副管理者会議では、議事にも上がらず、同組合議会での附帯決議に対する質問に何も回答が無かった。白岡市議会軽視と考えるが、白岡市長として今後どうするのか。
- (2) 事実上の黙殺状況を考えると、部分的な組合脱会等を視野に入れて市内の消防について考えていくべきでは。

第9 通告者

11番 加藤 一生 議員

1 「エリアマネジメントによるまちづくりの推進」について伺う。

実際の行動が「エリアマネジメントとは何か」の理解を求めるところから始まるようでは、いつまでたってもエリアマネジメントは始まらないと思うがいかがか。

そして、成果があるなら、その中身を次回問うので、市の回答を求めるが、よいか。

また、現在、運行が民間ベースで開始されている「バス」を具体的課題として「エリアマネジメント」を市民の皆さんに理解してもらい定着させるのはどうか。

第10 通告者

4番 斎藤 信治 議員

1 特別支援学級の小中連携について

小学校から中学校に進む際の変化は大きい。特別支援学級の子ども

にとってはなおさらである。小学校から中学校にその子の特性や特別な支援などの連携ができているのか伺う。

- (1) 連携はどうしているのか。
- (2) 連携に存在する問題の理由と対策は。
- (3) 中学校から高校に進学するときの連携は。

2 子ども基本計画の策定を

子どもの権利条約に則る子ども基本法が成立した。本法によると、国は子ども施策に関する大綱を、都道府県は、大綱を勘案して子ども基本計画を、市町村は、大綱と都道府県の子ども基本計画を勘案して子ども基本計画を策定するとしている。当市も子ども基本計画を策定すべきと考える。

- (1) 約70の自治体で子どもの権利条約にならった条例を策定している。白岡市子どもの権利条例を策定しないか。
- (2) 様々な子どもの施策で最も欠落しているのは子どもの意見表明権である。子どもたちが自らの意見を表明し変わる体験が大切である。初めの一步として、校則見直しを子どもたちにしてもらうのはいかがか。
- (3) 今までに策定してきた子ども施策を、子どもを中心に見直すことが基本計画の策定につながる。白岡市子ども基本計画を策定すべきではないか。

3 公用車のEV化推進

地球温暖化対策として公用車のEV化を進めるべきではないか。EV化だけでは意味がなく、再生可能エネルギーにより発電された電気を使用して初めて温暖化対策となる。EVは、停電時等に非常用電源として使用できることを前提に伺う。

- (1) BCPにおける停電時対応を確認する。
- (2) EVに変えることで財政的負担は増すのか。
- (3) 地球温暖化対策は進んでいるのか。ゼロカーボンシティを宣言しないか。

第 1 1 通告者

3 番 野々口 眞由美 議員

1 教員の働き方改革について

教員不足、教員のなり手不足は深刻な問題であり、業務の負担を減らすなどの改革が求められている。そこで、当市における教員の状況と働き方改革の現状と今後について伺う。

(1) 教員の職場環境の調査と改善に向けての対応策について伺う。

(2) 校務システムの導入について

児童生徒は一人一台端末での学習も始まり、学習環境におけるデジタル化は進んでいるが、学校現場で教員が担う校務のシステム化が進んでいない。現状と今後について伺う。

2 教育委員会内の連携について

(1) 地域部活動について

教員の働き方改革だけでなく、今後は多様な活動の場の提供、生徒以外の世代も含め親しむことができる環境作りなど生涯学習要素を持った活動が求められる。そこで、現状と課題について伺う。

(2) 教員の働き方改革及び教育委員会内の連携について教育長のお考えを伺う。

第 1 2 通告者

5 番 山 崎 巨 裕 議員

1 学童保育について

(1) 放課後児童健全育成事業は、児童の権利に関する条約の精神に則ることが重要と考えるが、いかがか。

(2) 児童にとって学童保育所が狭すぎるという保護者の声を聞くことがあるが、そのような苦情は担当課に届いているか。

(3) 国の設備基準、「児童一人につき設備部分を除いて1.65㎡（畳1畳分）以上の広さを確保する」は、どの児童クラブも基準を満たしているか。

(4) 雨天時など、児童クラブが体育館を利用できるよう学校への働きかけはできないか。

(5) 児童クラブに通う児童が児童全体の約2割、学校との連携は双方

不可欠と考えるが、現状どのような連携が図られているのか。

- (6) 各放課後児童クラブの支援員及び補助員の数は。
- (7) 放課後児童支援員の配置は、国の最低基準を満たしているのか。
- (8) 支援員の資質向上は必須と考えるが、どのような手立てが講じられているか。
- (9) 放課後児童クラブ運営指針（2015. 3）、放課後児童クラブ運営指針解説書（2017. 5厚労省編集）は各児童クラブに置いていただきたいが、いかがか。

2 生徒指導提要改訂について

- (1) 生徒指導提要改訂の主要な内容についての認識を伺う。
- (2) 児童の権利に関する条約が盛り込まれたこと、校則の見直しに言及したことは、重要と考えるが、いかがか。
- (3) 改訂内容をどのように学校に反映させるのか、見解を伺う。

第13 通告者

8番 中山 廣子 議員

1 子育て世帯への包括的な支援の重要性について

- (1) 国を挙げて「こどもまんなか社会」を目指している。本市としての今後の取組を伺う。
 - ア 本市の現在の少子化対策や子育て支援は。
 - イ これまでの取組の成果を踏まえて、どのような方針で臨もうとしているか。
- (2) 「子ども家庭支援センター」の設置について、本市はどのような検討が行われているか。
- (3) 本市でも、国の臨時特例事業の訪問家事支援事業に取り組んではいかがか。それと同時に担い手となる人材の育成にも取り組むべきと考えるがいかがか。

2 大人も子どもも楽しめるスケートパークの整備について

- (1) 市内のスケートボード人口などの現状を伺う。
 - ア 市内には、愛好家やそのグループはあるか。把握はしているか。
 - イ 市民から、スケートパークについての要望や、市長の手紙以外

の苦情のようなご意見は来ているか。

- (2) 近隣でも公営のスケートパークの設置が増えてきた。その状況を伺う。
- (3) 健全な青少年の育成の場として、また、居場所として、街のスポット的な場所として、本市もスケートパークを設置してはいかがか。

第14 通告者

17番 石原富子 議員

1 西小学校の教室不足について

白岡市立西小学校の令和4年度現在は児童数722人。現在深刻な教室不足が生じている。

- (1) 来年度の入学希望者数は。
- (2) これからの児童数の予測はどうか。
- (3) 学区内の新築住宅は増加の一方で、それに伴い小学校の児童数も増加すると考えられる。対策はあるか。
- (4) 在校生への対策はどのように考えているか。
- (5) 市内小中学校の極端な児童数の不均衡の問題をどのように解決していくのか。

第15 通告者

7番 松本栄一 議員

1 マイナンバーの管理について

現在、マイナンバーカードの新規取得者を増やすため、マイナポイント第2弾として最大20,000円分のポイント付きで、当市でも申請が進行中である。政府の個人情報保護委員会が、全国の自治体にマイナンバーの管理状況について点検を求めたところ、半数近くがデータ入力等の業務委託をしており、うち1割超の自治体で不備があった。

- (1) マイナンバーカードの交付申請書による発行は、平成27年10月の総務省の通知から開始されているが、当市の現在までの発行状況を伺う。(男女別、年代別について)
- (2) 健康保険証とマイナンバーカードを一体化させた「マイナ保険

証」の発行を進めているが、これを読み取る機械の導入が2023年4月から原則義務化される。全国の病院や診療所、薬局の約23万施設のうち、本年5月15日時点でマイナ保険証に対応するのは約4万か所にとどまっている。市内では病院や歯科医院、調剤薬局などが対象となるが、導入状況を把握しているか。

- (3) 政府は、マイナンバーの利用目的を広げる方針であるようだが、今後、自治体（当市の業務）や委託先業者が取り扱う情報量が増える可能性があり、取り扱う情報の管理・監督方法について検討しているか。

2 プラスチックごみの削減について

埼玉県は昨年、事業主や市町村、消費者団体に呼びかけ、プラごみ削減とリサイクルの取組を始めた。当市（衛生組合）はペットボトルを回収しリサイクルしているが、他のプラスチック類は可燃ごみとして処理している。

- (1) 県は、昨年6月に「埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム」を立ち上げ、キックイベントを開催している。同プラットフォーム総会が、昨年8月から本年7月までに3回開催されているが、県からの開催通知や総会開催通知があったか。また、入会申込みを検討しているか。
- (2) 県内では既に実証実験として、昨年に桶川市、上尾市、伊奈町が同取組に参加、開始し、幸手市が11月より開始した。ペットボトル以外のプラごみの削減とリサイクルに大変有効であるが、実施する考えはあるか。

第16通告者

14番 大島

勉 議員

1 市長公約・公言の進捗について

- (1) 観光協会は市役所に入ったことで何が変わったのか。
- (2) 道の駅についての進み具合は。
- (3) 空き家対策の進展は。
- (4) 市の新たな農業政策は。

- (5) 新白岡の葬儀場について。
 - (6) 圏央道インターチェンジ周辺の企業誘致の進捗は。
- 2 デジタル行政推進に向けて
- (1) 市ホームページはどう変わるのか。
 - (2) 市民サービスとしてのデジタル行政の方向性は。
 - (3) 電光掲示板のより良い運用について。
 - (4) D X推進に向け総合アプリ導入の考えは。
- 3 市民への対応について
- (1) 窓口対応について。
 - (2) 市民に向き合う職場づくりについて。
 - (3) 副市長の考えは。
- 4 これからの介護予防の取組は
- (1) 地域包括ケアシステムの構築について。
 - (2) 高齢者事業の効果は。
 - (3) 市長の考えは。